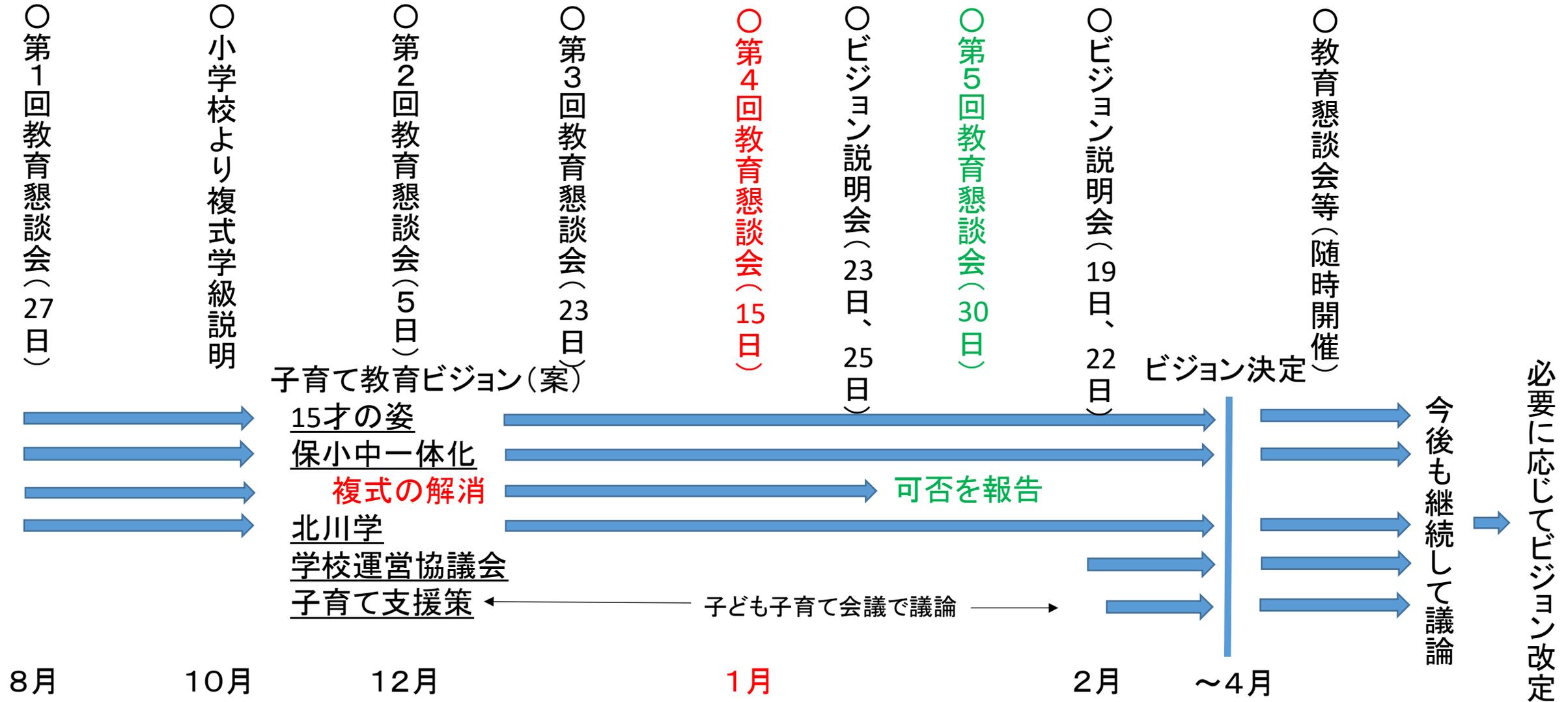


これまでの議論の状況と今後の予定



今月中に保護者の皆様にお話ししたい論点

児童数の減少により、来年から小学校教員の定数が1人減ります。

①校長の定員を削減する→小学校と中学校で1人の校長
(当面の複式学級の解消＝小中一貫校)

②担任教師の定員を削減する→来年度から一部で複式学級

村としては、現在の子どもたちの教育環境を維持するとともに、
今後更に魅力的な教育環境の構築も見据えて、①を提案します。

なお、村が目指す保小中一体化を含めた、子育て教育ビジョン(案)のその他の内容につきましては、今後も保護者の皆様と議論をしながら決めていく事項です。

前回までの説明会でいただいた御意見・御質問

○総論

赤字は今回お諮りする事項に直接関係する事項
青字は今後も引き続き議論していく事項

○複式学級の解消について(経緯)→12月5日回答配布

○令和2年度から小中一貫校開始は可能か→12月5日回答配布

○総合的な学習の時間が北川村のことばかりになっていないか→12月5日回答配布

○小中一貫校のメリット(小学校高学年や中学生も含む)と北川村で実施する理由、保小中一体化との関係→本日回答

○村としてどんな子どもに育ててほしいのか→本日回答

○保護者や子どもたちの意見を学校運営に取り入れてほしい→本日回答

○各論

○複式学級解消の他の方法はないのか、小中一貫校にしても完全複式になったら解消できないのではないかと→本日回答

○他の小中一貫校について特色ありきか複式ありきか、小中一貫校になることが決まれば具体的な説明会はあるのか
→本日回答

○小中が一緒になるのなら人間関係のサポートも必要ではないかと→本日回答

○職員室が一つにならなければ連携できないのではないかと、具体的にどのような連携を行うのか→本日回答

○乗り入れ授業は徐々に行うのか、中学校の先生が忙しくなり、部活動などのことがおろそかにならないかと→本日回答

(参考)12月保護者アンケート結果

- ・賛成 5人 ・疑問や不安が解消されれば賛成 13人
- ・疑問や不安があるため反対 0人 ・反対 0人

前回出た御意見・御質問に対する回答①

何故、北川村で小中一貫をする必要があるのか。

保小中一貫はどうなったのか。

→回答1ページ Q1参照

- グローバル化、IT化、高齢化、人口の減少など**社会環境の変化**
- 令和2年度より戦後最大の**教育改革が始動**
- 守りたい**北川村ならではの地域資源**
- 年少人口の減少による**村の教育環境の変化**

村の未来を支えてもらう子どもたちの教育環境を
地域一丸となって早急に整備する必要

保小中一体化について

目的

- 村で学ぶ子どもたちが、15年間の一貫した教育で、誰ひとり取り残されず学び、村の将来を担う人材になることができるための魅力的な環境をつくる

一体化のメリット

- 異学年交流の拡充や乗り入れ授業等による自己肯定感の高まり、学力の向上、学習意欲の向上、規範意識の向上など。
- 保小中が連携することにより、小1プロブレム、中1ギャップを未然に防ぐための対策が効果的に展開できる。
- 子どもの発達段階に合わせた指導（例えば、保小中間での乗り入れ授業、柔軟な学年設定、授業の前倒し、先送り）が可能。

前回出た御意見・御質問に対する回答②

村としてどんな子どもに育ててほしいのか。

→回答6ページ Q10参照

子どもの現状

学力調査やアンケートから見える子どもの実態

■学力が向上傾向にある

H30・H31全国学力・学習状況調査では全国平均を大きく上回っている

■村に誇りを持ち、愛着を感じている子どもが多い

H30学校評価アンケート「北川村が好きですか」小学校児童肯定回答100%

■自分の考え・思いを相手に伝えることについては改善の余地がある

H28～30学校評価アンケート「そう思う」回答 74%→57%→63%

また、地域・保護者・保育所・学校・行政などで村の子どもの現状を議論

『自己肯定感が低い』『表現する力が弱い』『生活リズムがついていない』

『人間関係の固定化』『地域コミュニティの弱体化』などの課題もあると分析

15才までに育ててほしい子ども姿

12月5日御説明資料

現状を踏まえて、中学校卒業時まで

- 確かな学力
- 規範意識
- コミュニケーション力
- 自尊感情
- 自立心
- 故郷への愛着と誇り

目指す子ども像

『ふるさとへの愛着と誇りを持ち、
学ぶ意欲にあふれ、
未来を切り拓く、
社会性豊かな子ども』

をしっかりと身に付けた

に育ててほしい。

前回出た御意見・御質問に対する回答③

保護者や子どもの意見を学校運営に取り入れてほしい。

→回答7ページ Q12参照

具体的な取組 ③地域ぐるみ教育について

概要・今後の方向性

○コミュニティ・スクール(学校運営協議会を設置している学校)(令和2年度～)

「保護者や住民の声を学校運営に適切に生かす仕組み」

- ・保護者や住民の代表者が定期的に保育所・学校と協議
→運営方針の承認を受けて教育活動を展開

○地域学校協働本部(ゆずっ子応援隊)(令和2年度～)

「地域住民が保育所や小中学校への活動に参画・協力する仕組み」

【活動の参考例】

- ・地域学習への協力(ゆず、やまなみ太鼓、中岡慎太郎、郷土料理等)
- ・環境整備(校庭・園庭・田畑等の整備、庭木の剪定、式典の生け花等)
- ・学習支援等(裁縫、調理実習、読み聞かせ、昔遊び、自然遊び等)

以下、参考資料

具体的な取組～保小中の一体的な環境整備の推進～

令和2年度具体的内容

- ① **小中一貫校**への移行(※別紙資料参照)
→ 手厚く魅力的な教育環境の維持・発展
- ② **北川学**の充実
→ ふるさとへの愛着と誇りを持ち、村に貢献できる子どもを今以上に育む
- ③ **学校運営協議会制度**を活用した**地域ぐるみ教育**の推進
→ 地域全体で子どもを支える仕組みを構築
- ④ **タブレット端末・電子教科書等、ICT環境**の整備
→ 子どもに興味関心を抱かせわかりやすい授業を提供
- ⑤ **臨床心理士**の配置
→ 子どもの力を最大限に発揮できるようにするための支援を充実
- ⑥ **子育て支援**として、**経済的支援や放課後子ども教室**を充実
→ 子育て世代への支援とともに移住促進を図る

具体的な取組 ②北川学について

目的（なぜ北川学？）

- 子どもの**探究的な学びの姿勢**を育むとともに、**ふるさとへの愛着と誇り**を持たせ、村の将来の産業を担うなど**村に貢献**できる子どもを育む。
- 取組を通じて、「**確かな学力**」「**コミュニケーション力**」「**自立心**」「**故郷への愛着と誇り**」等を今以上に身に付けさせたい。

概要

- **生活科・総合的な学習の時間**を柱とする**小中9年間を見通した活動**
※「生活科」「総合的な学習の時間」は各地域の特色を生かせる教育活動であり、柔軟なテーマ設定が可能です。
- 各学年が**村の地域資源**を基にテーマを設定
- **小中学校全学年**が教職員や保護者・住民の皆様に**授業を公開**
- **地域のイベント**等にも子どもが出向き、PR活動を展開

本年度の公開授業と今後の方向性

○ 令和元年度公開授業一覧

- 小1「がっこうたんけん」【2月5日】
- 小2「ドキドキわくわく村たんけん」【7月5日】
- 小3「北川村の宝物を探してPRしよう」【1月30日】
- 小4「北川村のゆずでみんなを幸せにしよう」【11月21日】
- 小5「中岡慎太郎PR大作戦！！」【10月21日】
- 小6「伝統文化からつながる村おこしプロジェクト～やまなみ太鼓を通じて～」【6月28日】
- 中1「地域の魅力を伝えよう～北川村のここがすごい～」【2月25日】
- 中2「北川村プロジェクト～PRと貢献～」【10月21日】
- 中3「豊かな地域社会の創造 ～自分の将来設計と地域社会への貢献について考える～」【6月17日】

- 今後は、より探究的・系統的な学びとなるよう**学習活動を充実**するとともに、北川学の内容や子どもの学びの姿を**保護者や地域の皆様に伝えるためのPRを充実**させてまいります。

具体的な取組 ③地域ぐるみ教育について

目的

- 子どもたちが新しい学習指導要領に基づく「社会に開かれた教育課程」を享受できるよう、**地域住民が学校教育に参画**するための体制整備を行う。
- 子どもたちとふれあう中で、**地域の方々に元気を与える**ことができるようにし、村の活性化を図る。
- 地域でできることはできるだけ地域で行い、**学校の先生には教育活動に専念**してもらおうための環境を構築する。

今後の検討事項

- 村の地域資源のさらなる活用
→就学前からの**子どもの自立や豊かな感性を磨く取組**（食育活動、アート教育等）
- 生徒の語学力の向上の体制整備（CIRとALTの2名配置開始）
→**海外派遣事業**の拡充等
- 子育て世代の移住促進を図り、児童生徒数を確保する観点
→**山村留学制度等**の在り方
- ICTの環境整備
→**専門家や高校、大学等との遠隔授業の在り方**
- 村の公園・図書館環境が脆弱、子育て世代の移住促進を図る観点
→**子育て・文教エリアの魅力ある環境整備と保小中の一体的な組織体制の在り方**

子育て教育ビジョン等の情報発信について

北川村のホームページなどで随時情報発信を行っています。
子育て教育ビジョンや保小中一体化、コミュニティ・スクール、北川学に関する情報や
学校運営協議会準備委員会で話し合われている内容を今後も掲載していきます。

■子育て教育ビジョンホームページ



■教育委員会公式LINE



■教育委員会専用メールアドレス



■教育委員会公式Facebook



※QRコードはLINE画面上部の検索窓の右端にあるカメラアイコン【一】などからでも取り込み可能です！！